

以上の値は必ずしも猪苗代湖の熱源的役割として確定的な結果とはいえないが、今後定常的な観測ができるようになればより確定的な値が計算し得るものと考えている。simulation等の値との対比はその段階で行う。

最後に御指導戴きました気象研究所藤田敏夫先生、観測の援助を戴いた伊藤靖之、佐浦雅明、星好房各氏をはじめ多くの福島大学学生諸氏に感謝の意を表します。なお、この研究には特定研究〔猪苗代湖の自然〕の研究経費を一部使用した。

文 献

- Estoque, M.A., J. Gross and H.W. Lai, 1976: A lake breeze over Southern Lake Ontario, *Mon. Wea. Rev.*, 104, 386-396.
- Fukui, H., 1952: On the local climatological survey in Aizu and Inawashiro Basins, *Sci. Rep. Tohoku Univ.*, 7, 56-66.
- Jacobs, W.C., 1942: On the energy exchange between sea and atmosphere, *J. Mar. Res.*, 5, 37-66.
- Kondo, J., 1975: Air-Sea bulk transfer coefficients in diabatic conditions, *Boundary-Layer Met.*, 9, 91-112.
- Moroz, W.T., 1967: A lake breeze on the eastern shore of Lake Michigan; observation and model, *J. Atmos. Sci.*, 24, 337-355.
- 百足虎治, 1953: 猪苗代湖における風の日変化について, *研究時報*, 5, 525-545.
- Thornthwaite, C.W., 1948: An approach towards a rational classification of climate, *Geogr. Rev.*, 38, 55-94.
- 渡辺 明, 1980: 猪苗代湖周辺の大気の局地循環について, 福島大学特定研〔猪苗代湖の自然〕研究報告, No. 1, 31-37.
- , 1981: 猪苗代湖 周辺の局地循環について, 福島大学特定研〔猪苗代湖の自然〕研究報告, No. 2, 43-53.
- , 1982: 猪苗代湖 周辺の局地循環について, 福島大学特定研〔猪苗代湖の自然〕研究報告, No. 3, 103-112.
- Yamamoto, G. and J. Kondo, 1964: Evaporation from Lake Towada, *J. Met. Soc. Japan*, 42, 85-96.
- , 1967: 野尻湖の蒸発, 東北電力土木部報告書, 1-96.
- , 1968: Evaporation from lake Nojiri, *J. Met. Soc. Japan*, 46, 166-177.

第22期第4回常任理事会議事録

日 時 昭和58年1月24日 9.45~12.00

場 所 気象庁観測部会議室

出席者 岸保, 松本, 荒井, 河村, 嶋村, 杉村, 竹内,
田宮, 増田, 村山

議 題

1. 予算関係

100周年記念事業のため「天気」、「気象集誌」ともに増頁となり、当初計画を遙かに上回り充実した

ものとなったので、このことに基づいて来年度の予算案を検討することになった。

2. その他

教育と普及委員に故会田 勝氏の後任として、大阪管区気象台の調査課長 宮本一夫氏に委嘱することを了承した。

新入会員の承認, 小倉 肇ほか38名の新入会員を承認。